

PET 検査（ポジトロン断層撮影）用診断薬事業への進出について

日本メジフィジックス株式会社は、悪性腫瘍等の早期診断に有用とされる PET 検査（ポジトロン断層撮影）用診断薬事業へ、本格的に進出することを決定いたしました。

PET 検査は、放射線を放出する微量の薬剤を患者さんに注射し、薬剤が病気の患部に集まる様子を体外から撮影することにより、病気の状態を診断する画期的な画像検査法です。2002 年 4 月に、¹⁸F DG を用いたポジトロン断層撮影が医療保険に適用されたのを機に、PET 検査に対する医療機関の需要は急速に高まりつつあります。しかし、現状では医療機関内で調製した PET 検査用薬剤を、その施設内で行う検査に使用することに限定されています。医療機関が新規に PET 検査を開始するには院内製造、薬剤の品質確保等に相当な設備投資と管理が必要なことから、医薬品としての PET 検査用薬剤の供給が要望されています。

当社は、日本における診断用放射性医薬品のトップメーカーとして、このような医療ニーズに対処し、PET 検査用薬剤を供給することにより、より多くの医療機関で PET 検査を可能とし、患者さんの健康増進に寄与していきたいと考えています。

PET 検査に使用される放射性同位元素の半減期が約 2 時間と、従来から医療に使用されている診断用放射性同位元素の半減期（6 ～ 7 2 時間）と比較してはるかに短いので、既存の製造施設（2 箇所）と共同開発者（1 箇所）からの供給だけでは、供給地域、供給量とも不十分であるため、新たに本検査用薬剤の研究・開発ならびに製造拠点を開設することとし、このほど順次着工する運びになりました。

供給を予定している薬剤は現在承認申請中であるため、薬事上の承認を取得でき次第、計 9 地点から速やかに供給を開始できるよう製造態勢を整える計画です。

名称：日本メジフィジックス札幌ラボ 他

開設拠点数： 全国 6 箇所

開設地：北海道（札幌市） 東京都（江東区） 愛知県（豊田市） 京都府（八幡市）
岡山県（岡山市） 福岡県（久留米市）

着工時期：5 月 26 日の札幌ラボを皮切りに順次着工

竣工予定：2004 年春～夏

総投資額：約 120 億円

日本メジフィジックス株式会社（本社：兵庫県西宮市 社長：中村日出彦）は、住友化学工業株式会社とアマシャムグループ（英国）の合併企業で、放射性医薬品のトップメーカーです。

以 上

本件に関するお問い合わせ先

東京本部 東京都千代田区九段北 1-13-5 電話 03-3234-2910 管理室（総務人事）／藤中

西宮本社 兵庫県西宮市六湛寺町 9-8 電話 0798-26-7006 管理室（総務人事）／田守